

北陸新幹線の整備促進について

北信越部会提出

北陸新幹線は高速交通体系の中軸として、日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展に資するとともに、大規模災害時において東海道新幹線の代替機能を果たすことから、国土強靱化を図る上で、極めて大きな効果をもたらすインフラ整備です。

また、北陸圏が首都圏や関西圏と直接結ばれ、交流人口や移住・定住人口の増加等、地域活性化につながるとともに、経済波及効果も大きいことから、地方創生や沿線地域の飛躍的発展に大きく寄与するものと期待されています。

北陸新幹線の開業によるこれらの効果を最大限発揮させるためには、一日も早い大阪までの全線開業を実現する必要があります。

つきましては、下記の事項について要望します。

記

- 1 沿線自治体や地域住民等に丁寧な説明を行い、理解促進に努めるとともに、敦賀―新大阪間の環境影響評価及び北陸新幹線事業推進調査を迅速に進め、早期に詳細な駅位置・ルート決定・公表及び認可・着工を実現すること。
- 2 貸付料の算定期間延長や国土強靱化に資する部分を全額国費で負担するなど、財源の議論を加速させ、着工5条件の早期解決を図り、一日も早い全線開業を実現すること。
- 3 JR小浜線は、特急が運行されておらず、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、敦賀―新大阪間の整備に伴う並行在来線には該当しないことを明確にすること。